



令和4年度実践報告

ふだんのくらしのしあわせ

～ともに学び

ともに育ち

ともに生きる～

社会福祉法人
交野市社会福祉協議会

アカウント名:交野市社会福祉協議会



😊 社会福祉協議会について 😊

社会福祉協議会(通称:社協)は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。

社会福祉法第109条に基づき、すべての都道府県と全ての市町村に設置されている福祉団体です。

交野市社会福祉協議会(社協)は「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を推進するため、さまざまな地域福祉活動を展開しています。

😊 福祉(ふくし)教育とは 😊

福祉(ふくし)

福祉は“しあわせ”や“ゆたかさ”を意味する言葉です。置き換えると「人をしあわせにすること」や「よりよく生きること」ということでもあります。

また「『**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ』を実現させる営み」であると言われることがあります。自分のことだけでなく、周りの人も大切に思い、一人ひとりの考え方、生き方を尊重し「ともに生きる力」を培うことでもあります。

福祉教育(ふくし学習)

福祉教育は、子どもたちの健全な育成を進めるとともに、地域住民の学びを通じて地域福祉の推進を図る、地域に暮らす全世代を対象とした取り組みです。

身の回りの人々や地域との関わりのなかから「ふだんのくらし」のなかにどのような福祉的課題があるかを自ら学び、課題を解決する方法を考え、解決のために行動する力を養うことで、ともに生きる力を育むことを目的としています。

😊 社会福祉協議会の役割について 😊

社協は、福祉教育(ふくし学習)を進めていくにあたり、関わる全員が「目的を共有する」ことを大切にしています。その上で、

- ①共に生きる力を育む
 - ②体験学習を大切にする
 - ③地域の一員としての意識を育てる
 - ④気づきや発見を他者と共有する
- ことを目標にしています。

ふくし学習の授業に役立てていただけるよう、実践報告書を作成しました。

ふくし学習では何をすればいいのか?という時に、この報告書がその一助になれば幸いです。「お困りのこと」「こんなことできる?」等々、交野市社会福祉協議会にご相談ください。掲載したものだけでなく、参加者の年齢や関心、それぞれの学校や学年、クラスなどにより、さまざまなアレンジも可能です。ぜひ、一緒に考えていきましょう。



ふくし学習の様子



①視覚障がい

内 容:当事者のお話、ユニバーサルデザインの説明、アイマスク体験

実 施:交野みらい小学校4年生

協力者:朗読グループ「あい」

こどもたちの声 🧐

- ・障がい者だけでなく、いろいろな人が使えるのはべんりだと思った。(ユニバーサルデザイン)
- ・ゆっくり歩いて声をかけるように気が付いた。(アイマスク)
- ・その先に何があるかよく見て気を付けた。(アイマスク)

②視覚障がい

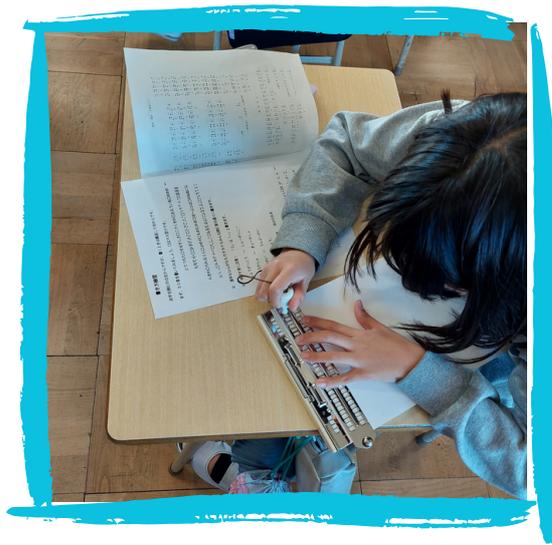
内 容:点字体験

実 施:藤が尾小学校4年生

協力者:点訳「虹の会」

こどもたちの声 🧐

- ・点字を習った次の日、電車にのると、いっぱい点字があった。
- ・虹の会のみなさんにおしえてもらったおかげで点字という言葉もわかりました。
- ・点字のことをもっと知りたいです。



③ボランティア活動者(地域住民)との交流

内 容:手作りおもちゃ体験

実 施:交野支援学校高等部1年生

協力者:おもちゃ作りとニュースポーツ・演芸「玉手箱」

ボランティアの声 🧐

みんなの顔を見るまで、私たちを受け入れてくれるかなと心配していました。すこしずつ興味を示してくれ、とびっきりの笑顔を見せてくれたのがうれしくて、夢中であつという間でした。



心に響く
体験を☆☆



藤が尾小学校
点字体験



交野みらい小学校
点字ブロック体験



令和4年度 ふくし教育実践報告

社会福祉法人 交野市社会福祉協議会

〒576-0034 交野市天野が原町5-5-1
(ゆうゆうセンター3階)

TEL:072-895-1185 FAX:072-893-6423